

甲佐町議会だより



清流

第111号

平成16年10月29日

発行 甲佐町議会

9月定例会



9月15日 待望の開通を迎えた益城橋（仁田子）

- 議員定数16名から4名を削減……………②～③
- そこが知りたい Q&A……………④～⑤
- 一般質問5人 ここが聞きたい……………⑥～⑩
- 人材育成基金は適正に使われたか?……………⑪
- 傍聴席から一言……………⑫

自らが改革へ!!



堤防石積みの文化財発掘が予定されている上揚堤防



◆補正予算
 人事異動に伴う人件費の調整や文化財発掘調査費用等4756万円余りの一般会計補正予算の追加補正を承認した他、国民健康保健特別会計他2特別会計補正予算等についても原案通り承認した。

9月 定例議会

平成15年度の各会計決算を上程

一般会計補正予算には4756万円を増額補正

平成16年度 9月定例会は、9月3日に招集され10日までの8日間の日程で開催されました。今定例会では平成16年度の一般会計補正予算の審議をはじめ、平成15年度一般会計他、各特別会計および水道事業会計決算の承認・町営グラウンド等の管理に関する条例他2条例の改正および設置・町道の路線認定2件・要望書2件等について審議しました。
 決算承認については、特別委員会を設置し閉会中の継続審査とすることとし、他の案件についてはいずれも原案通り可決されました。また、議員発議により現員数16名から4名削減の12名へ改正する甲佐町議会議員定数条例の一部改正案が提出され、全会一致で可決されました。なお一般質問には5名の議員が登壇、町政全般にわたり質問しました。

町のお金の使途は？

平成15年度決算総額(水道会計を除く)

歳入 98億249万円 歳出 91億5854万円

平成15年度各種会計決算額

会計別内訳	歳入	歳出	差引額
一般会計	49億9082万円	46億6146万円	3億2936万円
国民健康保健	16億2280万円	13億7110万円	2億5170万円
老人保険	20億2025万円	19億9472万円	2553万円
介護保険	11億1066万円	10億8220万円	2846万円
有線放送	5627万円	4807万円	820万円
住宅新築貸付	169万円	99万円	70万円
合計	98億0249万円	91億5854万円	6億4395万円

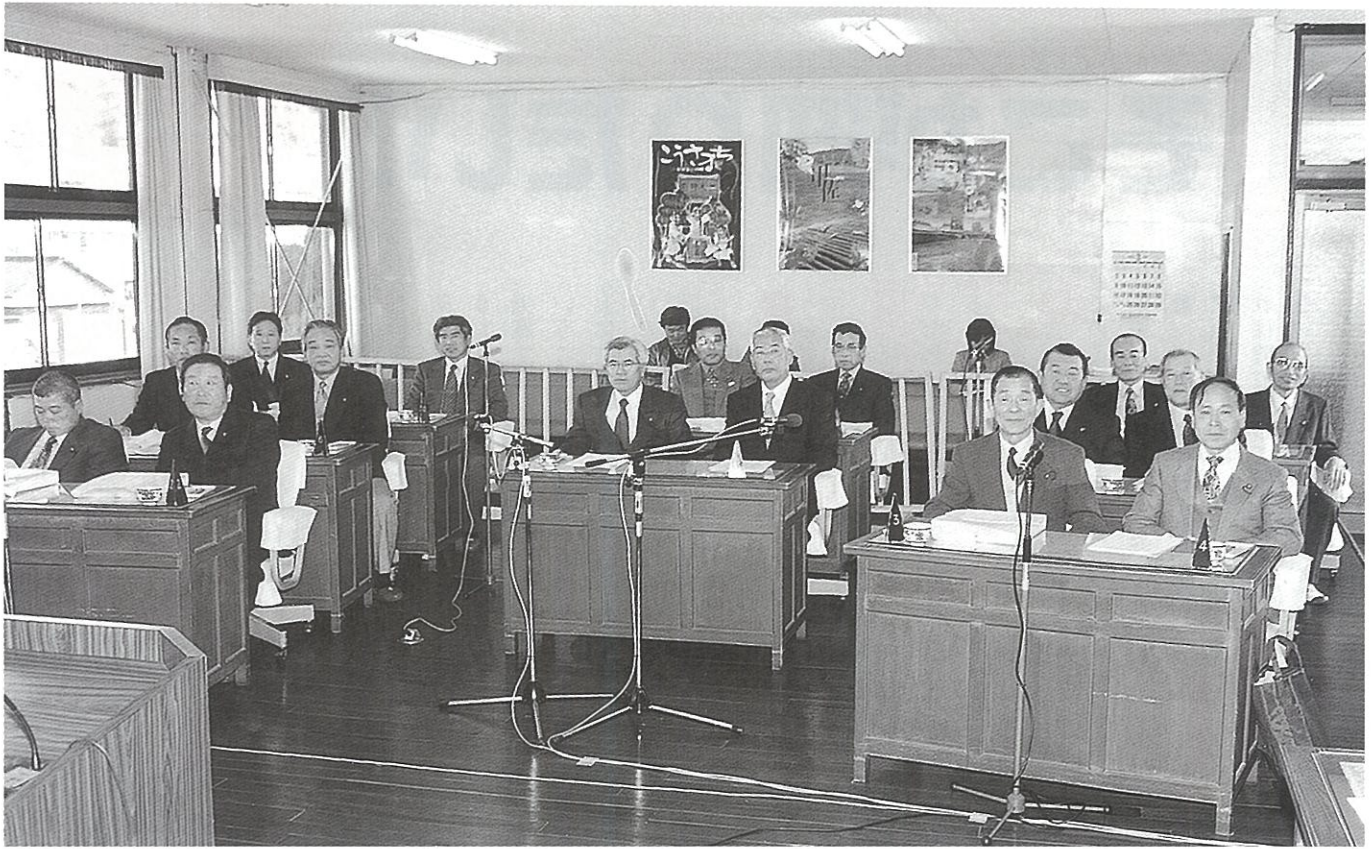
水道事業会計	収益的収入	1億3632万円	収益的支出	1億2111万円
〃	資本的収入	4895万円	資本的支出	8120万円

決算審査特別委員会に付託（閉会中の継続審査へ）

平成15年度の町の決算総額が示され上記の各会計毎の金額が明らかになり、議会では、会期中の審査は時間的に無理がありとの判断から決算審査特別委員会を設置し、その中で閉会中の継続審査として調査することとしました。

地方財政再建に向け議員

議員定数16名を4名減の12名に削減 (次回の一般選挙から実施)



甲佐町議会

甲佐町議会議員定数 条例の一部改正について

◆提案理由

今、国が進めている地方分権に伴う「三位一体の改革」は、不透明である。また、甲佐町は御船町との合併協議会を立上げ合併に向けて協議を重ねてきたが御船町の住民投票の結果、合併協議会を解散することとなった。国における「三位一体の改革」では、平成16年度を初年度として地方交付税の大幅削減、国庫補助・負担金の廃止については一方的に実施されているがそれに伴う本格的な税源移譲は先送りされ国の財政再生が優先され地方の財政は大きな打撃を受けているのも現実である。

◆ 提案理由
今、国が進めている地方分権に伴う「三位一体の改革」は、不透明である。また、甲佐町は御船町との合併協議会を立上げ合併に向けて協議を重ねてきたが御船町の住民投票の結果、合併協議会を解散することとなった。国における「三位一体の改革」では、平成16年度を初年度として地方交付税の大幅削減、国庫補助・負担金の廃止については一方的に実施されているがそれに伴う本格的な税源移譲は先送りされ国の財政再生が優先され地方の財政は大きな打撃を受けているのも現実である。

◆ 提案理由
今、国が進めている地方分権に伴う「三位一体の改革」は、不透明である。また、甲佐町は御船町との合併協議会を立上げ合併に向けて協議を重ねてきたが御船町の住民投票の結果、合併協議会を解散することとなった。国における「三位一体の改革」では、平成16年度を初年度として地方交付税の大幅削減、国庫補助・負担金の廃止については一方的に実施されているがそれに伴う本格的な税源移譲は先送りされ国の財政再生が優先され地方の財政は大きな打撃を受けているのも現実である。

◆ 提案理由
今、国が進めている地方分権に伴う「三位一体の改革」は、不透明である。また、甲佐町は御船町との合併協議会を立上げ合併に向けて協議を重ねてきたが御船町の住民投票の結果、合併協議会を解散することとなった。国における「三位一体の改革」では、平成16年度を初年度として地方交付税の大幅削減、国庫補助・負担金の廃止については一方的に実施されているがそれに伴う本格的な税源移譲は先送りされ国の財政再生が優先され地方の財政は大きな打撃を受けているのも現実である。

◆ 提案理由
今、国が進めている地方分権に伴う「三位一体の改革」は、不透明である。また、甲佐町は御船町との合併協議会を立上げ合併に向けて協議を重ねてきたが御船町の住民投票の結果、合併協議会を解散することとなった。国における「三位一体の改革」では、平成16年度を初年度として地方交付税の大幅削減、国庫補助・負担金の廃止については一方的に実施されているがそれに伴う本格的な税源移譲は先送りされ国の財政再生が優先され地方の財政は大きな打撃を受けているのも現実である。

9月定例会質疑より

Q&A

そこが知りたい!

論 点

埋蔵文化財とは

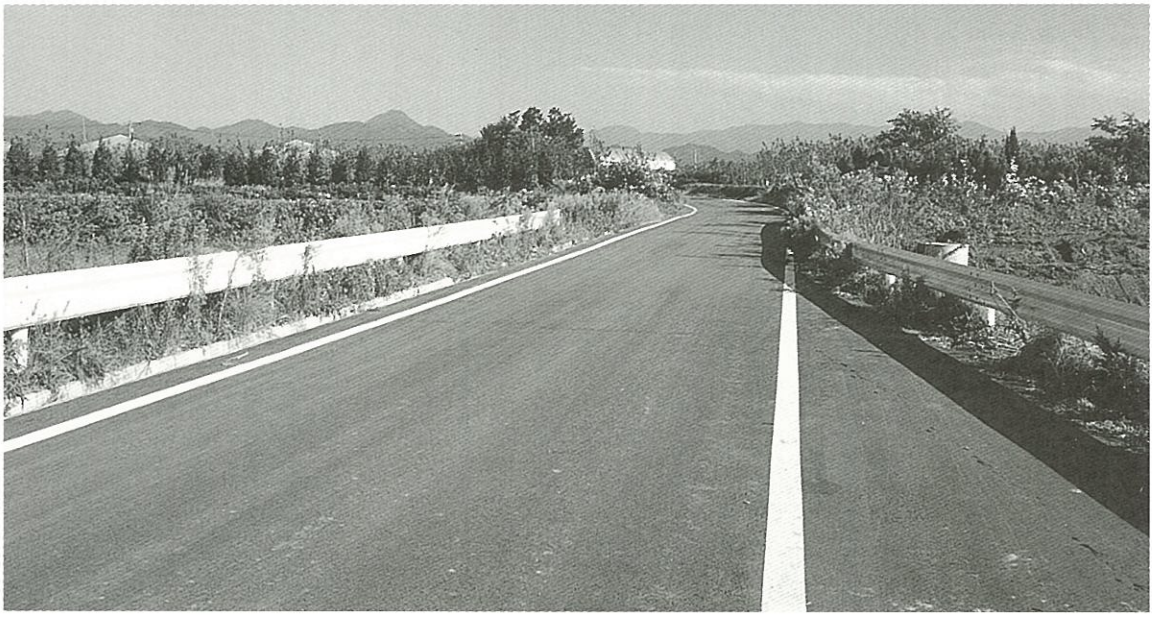
Q 埋蔵文化財発掘調査委託金、3000万円が計上されているが、場所と内容は。

A 上揚地区、緑川右岸で加藤清正公が作ったとされる堤防である。発掘調査は石垣を対象として、輪中堤防の延長780メートルのうち320メートルを調査実施する。また記録調査ということで、調査後はその上に国土交通省が計画している護岸工事の築堤をする計画になっている。

農道で改良できるか

Q 現在ある町道を改良するために農道として改良する事業ができるか。

A 一級町道では農道としての改良はできないが、補助事業を活用する場合、二級、一級町道では、その事業の採択の条件に合っていれば農道として事業ができる。



改良が進む田口農道

工事の補償期間はあるか

Q 保健福祉センターの空調機の修理費が計上されているが、建設されてから期間があまりたっていない。補償期間はないのか。

A 町の公共工事請負契約約款によると、工事的に重大な過失がなければ建物や瓦については10年間の補償その他の工作物は2年、設備工事等については1年間の補償となっている。

委託を委託できるか

Q 社会福祉協議会への委託金を社協がそのまま他へ委託してよいのか。

A 町の施設を直接管理しないで社協に委託したことは適当ではなかった。消費税課税対象の問題もあるので十分調査をして検討したい。

工事請負費の減額は

Q 団体営事業で行っている田口地区農道で工事請負費が減額になっているが。

A 工事費で予算計上していたが工事費を用地買収費と立木補償費に組み替えた。



公園に設置されている簡易トイレ

乙女小プールの計画は

Q 乙女小学校のプールの老朽化が進んでいる、改修の計画はないのか。

A 財政上の問題もあるが子どもが水泳をするにあたって事故のないようなプールにすべきであり、実現に向けて検討したい。

簡易トイレの管理は

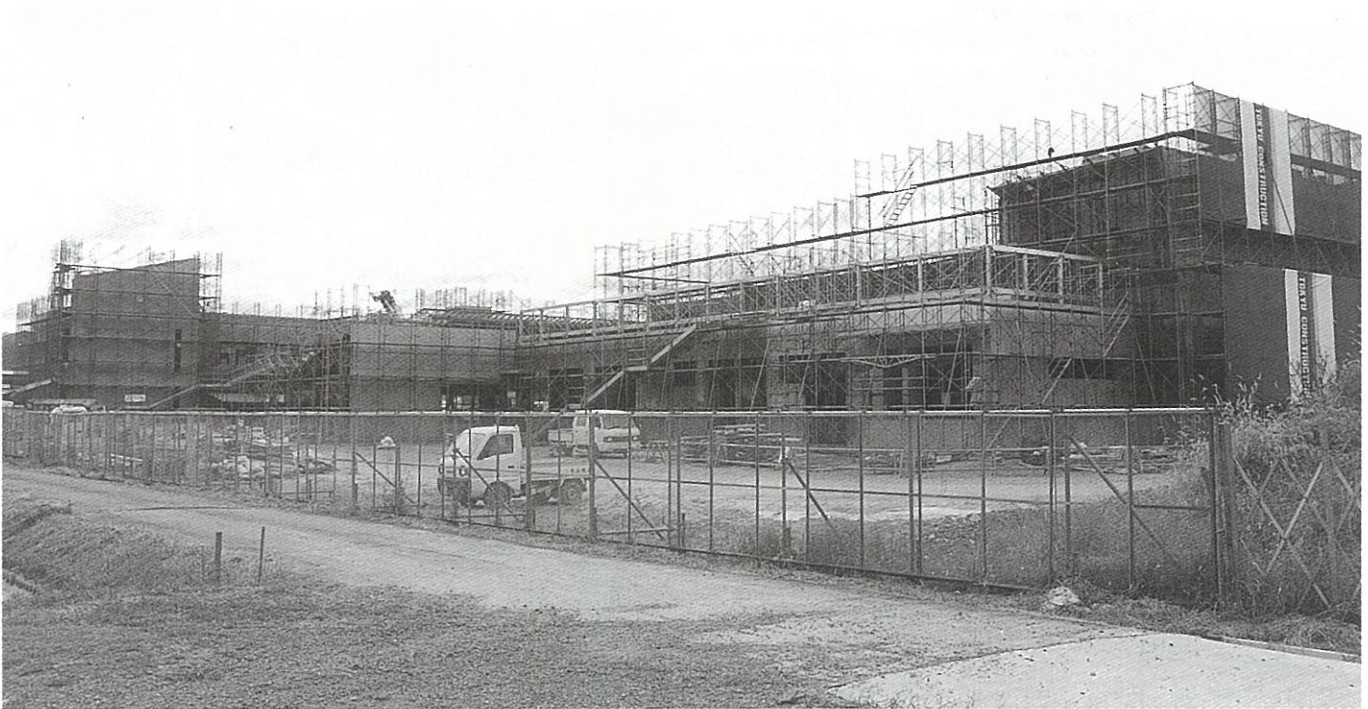
Q 公園やグラウンド等の簡易トイレの管理委託が、均一でないが。

A 課によってまちまちであるが、くみ取り料等、内容的に十分留意しながら予算査定を行いたい。

庁舎用地の条例改正は

Q 町営グラウンド等の管理及び使用料に関する条例の一部改正については、この土地は庁舎及び生涯学習センター用地として、3月から工事を始めている。条例の改正は早く提出すべきではなかったか。

A 工事に着工しているのもっと早く提出すべきであった。



急ピッチで進む役場庁舎と生涯学習センター

ざんじ休憩



「情けは人のためならず」

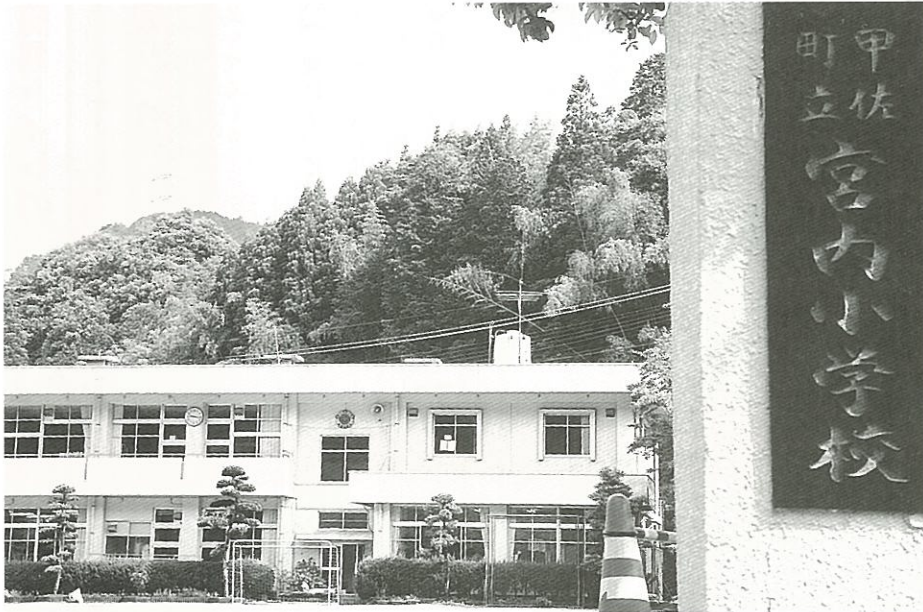
情けをかけるのは他人のためにするのではない、人に親切にしてあげばめぐりめぐって、自分により報いが来る。という意味のことわざだ。このことわざは特に誤解されてつかわれている。「人に親切にするとその人にとってかえってよくない。だから親切にしない方がいいことがある」と解釈する人が増えている。これでは「情をかけるか、かけないか」が本来の使い方と逆になってしまう。本来の使い方では打算的な考え方を表したことわざのように見えるが、直接の見かえりを期待しているわけではないから、むしろ博愛的な言葉だというべきである。

一般質問

と

答弁

ここに聞きたい!



義務教育費の国庫負担制度の堅持を!

門内巧議員

改正特例法とは

特例債の支援はない

門内巧議員

合併特例法が来年4月から改正されるがその内容はどうか。

総務課長

合併特例法の改正の内容は第一に、平成17年4月以降も合併に関する新しい法律を制定し、一定期間さらに合併を推進するという目的で、合併特例債と現行の

合併特例法のような財政支援措置はとらない。

第二に、県が市町村の合併に関する構想を策定して幹旋勧告を実施する。

第三に、17年の3月31日までに市町村の議会の議決を経て都道府県知事に合併の申請を行なった上で、18年の3月31日までに合併すれば改正前の合併特例法の規定を適用して財政支援をしていく。以上のとおり改正された。

は 義務教育費の国庫負担は 国は続けて欲しい

門内巧議員

全国知事会等の地方6団体の動きの中で、義務教育費の国庫負担金制度を廃止して、一般財源化案を国に提案されているが、町長はどう思うか。

町長

義務教育費の国庫負担は今までどうり続けていたいただきたい。負担金の削減等の論議がなされているが、私としては反発を持っている。

教育現場はいかに 不登校は減っている

門内巧議員

本町において、小学校、中学校での不登校の実態といじめや校内暴力等がおきているとはいえないか。

教育長

不登校については、小、中学校で合わせて5名の報告を受けている。不登校の要因、背景、または一人ひとりの子どもの心を早期に把握しながら指導と対応をするよう心がけている。また、いじめや校内暴力等の報告は受けていない。



子供は町の宝だ!

中村幸男議員

庁舎跡地利用計画を急げ！

再度検討中である

中村幸男議員

庁舎跡地の利用計画は、今まで議会において何回となく質問されて来たが、具体的な利用計画を示して欲しい。

町長

市街地活性化のため、宅地として売却を考えていたが、いろいろと要望があるので再度検討している。

総務課長

財政的に考えると、売却処分が一番いいとおもっている。

中村幸男議員

跡地利用計画は、町の発展につながるようにすべきであり、十分検討されて12月議会には、計画を提出してほしい。

町長

早急に利用計画を策定したい。



現庁舎 財源確保として売却？

中村幸男議員

合併が、白紙になり、庁舎建設に多大に影響していると聞くが、推挙状況はどうなっているか。

建設課長

議会棟などを別棟に計画するなど設計変更が必要となった。約50日の工事中止命令を出した関係で遅れが生じているが、8月末時点で工程上で3%程度遅れている。

職員定数の削減を！

近々職員適正化計画を策定したい

町長

歳出を見ると、人件費、扶助費、公債費など義務的経費が約半分を占める状況にあり、早い機会に、適正化計画を策定して、職員削減に努める。

計画策定に当たっては、今後10年間で、退職者、新規採用者の調整を計り、公共施設の民営化等進行度合いも勘案して、15%削減の120名体制を想定している。

中村幸男議員

職員の適正化、スリム化について、臨時職員の数と予算も検討する必要がある。また新規採用にあたっては、専門知識、民間企業の経験者の採用も検討すべきと思うが。

町長

住民サービスを低下させる事なく、職員間の協働体制の見直しをして、スリム化すべき所はスリム化していくし、採用にあたっては、退職者の再雇用も含めて考えていく。

中村幸男議員

本町の財政状況は、極めて悪化していて、議員・職員の定数削減を現実化する時期に来ている。議会は4名の定数削減を決めたが町は職員の削減に対する町長の考えを聞きたい。



町の行財政改革の取組状況を聞く財政問題特別委員会

町施設の管理状況は！

前向きに取り組んでいる

中村幸男議員

町は島根県の方に、指定管理者制度の研修に行かれた。町の施設の管理に対する基本的な考え方を聞きたい。

町長

指定管理者制度の導入については、行財政検討委員会の方で、中身について詰めたところで検討している。

前向きに取り組んでいる。

中村幸男議員

町の施設の管理状況は、各課ごと違い、統一されていない。

総務課長

各課ごと対応していて提出資料にズレがあった。資料の作成には、万全を期したい。

検討委員会の検討内容は！

17年度予算編成に生かしたい

中村幸男議員

行財政問題等検討委員会が設置されたが、検討状況を聞きたい。

総括審議員

検討内容は、財源確保の問題、それと経費削減について、短期、長期に分けて検討している。

本年度の予算編成にも生かしていきたい。

中村幸男議員

報酬、手当あたりの見直しや各補助金の削減も検討されているが、民間委託等大きな歳出削減も検討すべきだと思う。

町長

民間委託や各種補助金の見直し等十分に配慮しながら対応していく。経費節減については、精一杯努力して行きたい。

山口照雄 議員

退職職員の再任用を

行政執行に有利だ

山口照雄議員

役場を辞めた人達の再任用の考えはないか。

総務課長

再任用については、二つの条件がある。退職後も十分職務能力があり、また当該普通地方公共団体（甲佐

町）で豊富な経験を積んでいるという前提条件である。

町長

今、甲佐町では条例化していないが、提案事項は行政執行に非常に有利で、内部で検討する。

クリーンセンターの運用を聞く 細部の調査が必要

山口照雄議員

クリーンセンターの負担金の査定基準を尋ねる。

町長

負担金の決定は、当センター組合からの要請で調査、決定している。

委託料の決定は

山口照雄議員

負担金は組合に払う中で収集業者は町が委託している。しかし収集するゴミの量も把握してないと聞くが、

務に従事するものは、収集にかかる手数料は徴収してはいけなくなっている。

町長

細部の点で詰めた調査も必要と思われる。

職員の出向は

山口照雄議員

クリーンセンターへの職員の出向は適切なのか。

総務課長

指摘のように、出向に対する法的な根拠が明確でなく、6月に派遣条例を制定し、それに則っての派遣が適切と思える。

町長

今後は、出向から派遣への変更がよいと思う。

山口照雄議員

組合への出向という形なので聞きにくいですが、クリーンセンターで一般廃棄物の肉骨粉は受け入れなかったと聞くが本当か。

町長

組合の職員の判断で誤りがあった。今後は管理者会議を開き、指示をし通知を出させる。

最終処分場の考えは

山口照雄議員

施設組合の過去の処分場は、30年間分のゴミが捨ててあり、現在は上部と法面は土で処理してあり問題もあると聞く。

将来、最終処分場を作る

時は、このような問題を公表しながら、基準に添った施設が必要であると説明するのが組合長である町長の責任と思うが。

町長

ごみ処理の問題は、環境の大きな課題であり、財源の問題も含め検討する。

職員の交通事故対策は 九月一日付で改正を

山口照雄議員

甲佐町の職員の交通事故対策の要綱で、改正をされたと聞いたが。

総務課長

今回、9月1日付で、交通3悪の一つの飲酒運転を、厳しいものになっているが改正をした。

※他に次のような質問がありました。

- ◎クリーンセンター組合の負担金の内訳。経費節減八代に排出している焼却灰の積載オーバーについて
- ◎し尿組合でのし尿処理方法の矛盾点。
- ◎城平山の経緯
- ◎JAの選果場の移転の時期（建物の移転は12月末）
- ◎田原のクリーンセンターの管理状況等の質問がありました。



過去30年の焼却灰の処分場埋立地

北畑常博議員

合併廃止後の町政・財政運営は！
住民説明会を実施し理解を求め



着々と建築が進む「あゆの里・緑川団地」

北畑常博議員

御船町との合併が廃止になった現在、今後どういう町政、財政運営を進めていくのか。

町長

平成17年度予算運営方針は、財政状況が、非常に危険性の高いエリアに突入しつつある状況で自立への道は大変厳しいものがある。

そこで長期的展望に立った町政運営を見越した予算編成を考え、行財政改革推進本部を設置し、行財政問題等検討委員会で、短期的取り組み事項の洗い出し、18年度以降の中期的な計画を作成し、自立に向けて手段、方法等が定まった時期に議会の財政の節減や財政の収入を含めて、今後検討していきたい。



財政力をつける方法は！ 住宅建設促進に努める

北畑常博議員

財政力をつけるには、どのような政策、手法について町長、総務課長、総務審議員の考えを聞きたい。

町長

財源を得る対策には、それなりの投資が必要である町としては、住宅政策で少しでも人口減少をおさえる為、住宅促進に努力するべきである。

総務課長

職員研修を通じて、住民

サービス、公務員としてのあり方を再認識することがまちづくりの原点ということ。今後一生懸命頑張っていきたい。

総務審議員

役場内の行財政問題等検討委員会委員長として、委員会の中でまちづくりの財源確保等あたりも研究していきたい。

北畑常博議員

財源確保の為には、一つの発想があり指導力が重視される。

たとえば刑務所の誘致についても、毎年収入は確保

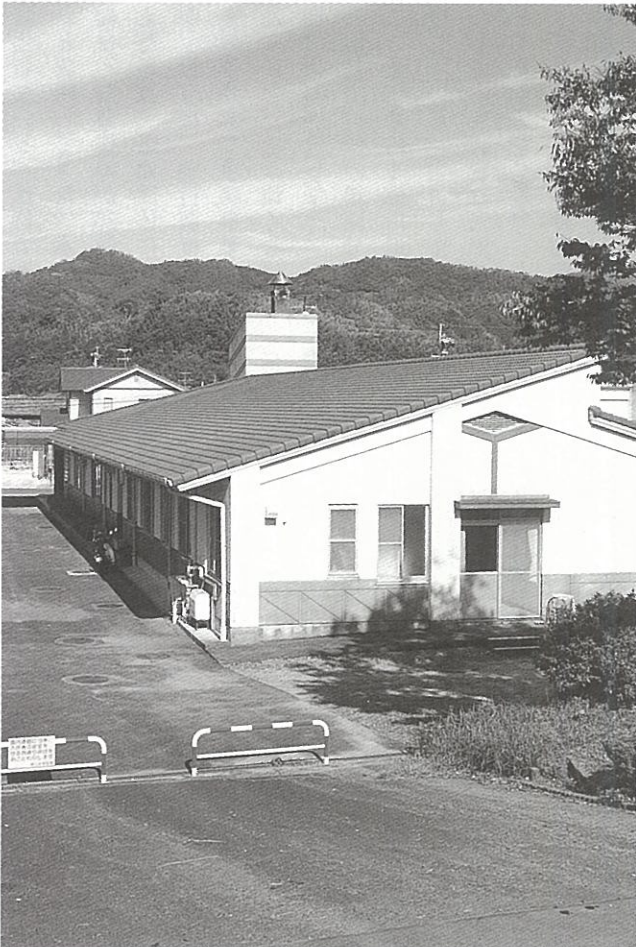
でき、人の雇用もできる。

農産物も売れる、そういうことを考え努力してもらいたい。執行部の考えは。

助役

住宅政策についても計画どおり早めに入居者が目標を達成できれば、解決できるが完売できるまではなかなか進まない。

刑務所等の誘致は地元にとっては波及効果があると聞いており、是非、実現にこぎつきたい。又、墓地を作って売り出したいと今模索をし知恵をしぼっているところである。



将来、民間委託が検討されている老人ホーム

西坂親議員

乙女小プールは安全か？

老朽化は十分に認識している

西坂親議員

乙女小学校のプールについて、大変老朽化し、子供が怪我をする恐れがある。

振興計画を見ると、16年度の工事予定が、18年度に延期されているがなぜ？

学校教育課長

プール建設後31年が経過している。その間、1部補修をした。できるだけ財政負担が伴わない改善策を講じていきたい。

西坂親議員

そういう方策があれば、



老朽化し、早急な改修が呼ばれる乙女小プール

親議員

結構だが、その場しのぎでは困る。

町長

乙女小プールの老朽化については、十分に認識している。町財政を踏まえ内部検討していく。

教育長

学力面、道徳面、体育面
そうゆうバランスのとれた子供の育成が必要であり、水泳も是非必要だと思う。教育委員会としても、十分に計画を練りながら対応し、町長部局に要望していく。

合併「した場合」「しない場合」比較を!!

合併について説明不足であった

西坂親議員

町長は、所信表明の中で、当面の間は町単独の選択をされた。大変厳しい現状を考えると、「当面」ではなくて「まず単独」という姿勢で腹を据えて町政を執行すべきでは。

強化しないと、維持できないと説明してきた。本町の場合、公債比率が20%を超えた場合、再建団体になる

が、仮りに、現行制度のままのやり方で事務事業を推進すると、そう遠くない時期に再建団体になる。

地元交付税の増減ですがここ数年で約4億円近く減少している。合併してもしなくても交付税は当然減ってくる予測される。

それから、合併特例債は90億円準備されていたが、公債比率が15%〜20%近くになると、すべての事業ができたかどうか、疑問であった。その点、説明不足があったかもしれない。

西坂親議員

地元を潰して国は成り立たない。町は、財政検討委員会等でも十分に協議し、町民に説明をし、辛抱していただくところは、辛抱していただいで、理解してもらい、納得のいく町政執行を願いたい。

西坂親議員

合併問題の反省の中で、「した場合」と「しない場合」の財政の比較をすべきだと思う。財政の破綻問題、地元交付税の推移それとも合併特例債の公債比率との関係について、町当局の見解を聞く。

総務課長

合併によって財政基盤を

町道田口橋学校線通学児童に支障あり 早急に、前向きに検討する

西坂親議員

県道今吉野甲佐線の改良促進と、田口橋の架け替えについて、着々とゆつくり進んでいるが、先が見えない。県の方にもっと強く要望すべきでは。

町道田口橋学校線は、子供の通学路になっている。雨水が溜り整備が必要と思われる。

建設課長
県の方では、「路線を変える事なく、年次計画に基づいて進めている」ということですので、予算拡大について要望していく。

町への対応を示してほしい。建設課長
通学路として大変不便をかけている。

田口橋についても、同様の認識を持っている。

一時的な修復で済むのか、舗装改良、もしくは、全面的改良すべきか、早急に前向きに検討していく。

外ヤナに親水公園を 国と協議して行く

西坂親議員

国土交通省の堤防改修計画もあると聞くので、外ヤナと鶴の瀬の上流域に親水公園を整備してはどうか。

町長

堤防改修では具体的な施工計画まで承知していない。計画が出来た時点で国と協議したい。



人材育成基金調査 特別委員会報告

議会

人材育成基金は適正に使われたか？

町長

反省点多い、規則を改正して適切に執行したい。

6月議会において人材育成基金の運営について疑義があるとして議会では調査特別委員会が設置され、閉会中の継続調査となっていた。

委員会では①人材育成基金の設置の条例・規則の確認②基金の目的③過去の人材育成基金の運用状況④基金の執行状況に条例、規則違反はなかったか。以上の観点から委員会では6月から8月にかけて調査を行なってきました。

人材育成基金は関東在住の地元出身者で結成されている東京甲佐会の有志の方々の一千万円の寄付により本町の住民の人材育成を目的に平成12年に設置されたものである。

平成13年度から平成15年まで6件の事業に280万円余りの助成金が支出されているが、この基金の支出については条例の運用が町独自の解釈で執行され一貫性に欠けていた。

人材育成基金を支出する場合は審議委員会を開催して、審査を経て助成するが原則と思われるが昨年度は審査委員会を一度も開催しないで支出されていた。

執行部から委員会に対して、「人材育成基金の運用については審査委員会を開催すべきであった。予算の執行についても適正に行うべきであった。今後、すべて審査委員会を開催すると共に、規則を改正して適切な予算執行を行いたい、十分反省している」との説明があり、委員会では協議の結果、「町当局における今後の適正な運営を要望する」旨の委員会報告が9月議会に提案され、全会一致で承認された。

人材育成基金執行状況

年 度	事 業 名	支 払 先	支 払 金 額	審 査 会
平成13年度	中国柳州市友好交流	甲佐中5名(個人)	65,000円	開催
		甲佐高3名(個人)	39,000円	開催
平成14年度	欧州への農業視察	地元農業者1名	215,000円	開催
	活力ある町づくりアイデア募集	入賞者賞金	250,000円	なし
平成15年度	鮎まつり「造り物」人材育成事業	出品者13団体	1,300,000円	なし
	中国柳州市友好交流	甲佐町国際交流協会	700,000円	なし
	地域交流学習(よなおし)教室	甲佐町中央公民館長	250,000円	なし

陳謝・要望

◎あゆの里「緑川団地」に関する要望書 **採択** 要望者 甲佐町建築協会 会長 杉本代
本町の住宅支援指導要綱に基づき緑川団地の分譲が始まったが、町の経済浮揚の為に本協会に対して特段の配慮を要望する。

◎保育所運営費及び施設整備補助金の削減について反対する要望 **採択**
要望者 (社)熊本県保育協会 理事長 吉本征一郎
熊本県保育協議会 会長 松本敬士
上益城郡保育連盟 会長 吉本征一郎
現在の保育制度を維持するため、民間保育所運営費・施設整備費・給食室必置に関わる国庫補助負担金の堅持を要望する。



新しい町道に認定された「小鹿谷内線」

◎小鹿谷内線
小鹿地区の通称「はちまき」道路から谷内地区を終点とする小鹿農道を町道に認定。



新しい町道に認定された「中野立野線」

◎町道中野立野線
緑町雇用促進住宅前の道路から緑町グリーン団地内の町有道路を町道に認定。

新しく町道之路線を認定

傍聴席から一言

あなたの目標、夢なんですか？



井芹正博 (山出)

私は、JA上益城に勤めて24年になります。勤め始めた昭和55年当時、あの頃は、農家に元気があつたな、と最近つくづく思います。

たしかに現在70歳の人が46歳の時、農業に従事され、農業収入も増産すれば稼げる時代だった。しかし、今は、高齢化、後継者不足の中で一生懸命、汗水流して良い品物を作っても高値で売れない時代になった。

時代は急激に変わっています。

甲佐町の年齢別人口の推移を見ると65歳以上が全体の30・1%、70歳以上が23・4%をしめている。医療費にしても相当な金額だろうな、と感じる。10年後、20年後甲佐町は、日本は、と考えると不安をおぼえます。

目標、夢を持った人は輝いていると思います。議員の皆さん1人、1人に私は、聞きたい、あなたの目標、夢はなんですか？

ある人が、言いました。1000回の法則、自分の夢、目標を1000回、紙に書きなさい。1000

〇回書けば必ず夢は達成できると。議会においても夢をもって議論してもらいたいし、甲佐町の行く末を明確に打ち出し、それに向かって取り組んでもらいたいと思います。

最後になりますが、甲佐町議会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

議員研修

政治信念を貫く小泉首相 議会人としてどう思う

県内町村議会の正副議長及び各委員長研修会が10月4日熊本市の産業文化会館で開催された。

当日、読売新聞編集委員「橋本五郎先生」の「政局展望」を主題に講演がありました。

政治史の中で一国の首相がとってきた政策は、国民生活にどう影響してきたか、鳩山首相の日露関係から始まり、田中首相は日中関係を開きダイナミックな政治をされたこと、歴代

の首相から現在の小泉内閣の人気の秘密は「改革なくして景気回復なし」「自民党をぶっ壊す」「郵政の民営化」を強調して、政治の信念が一貫して変わらな

ることが国民に受け付けているらしい。又、後継者不足もいじめない。

小泉首相の政治の手法を毒舌と称賛を交えながら講演されました。政治のリーダーとして国民の期待を一身に受けての政策の過程には政治家の育ってきた



環境が考え方に大きく影響していると言う。また政治家として国民の痛み、苦しみがわからなければ血の通った政治はできないと持論を述べられた。参加した600人の議員は議会人として、どのように受け止めただろうか？

甲佐町・砥用町、中央町、泉村

近隣4カ町村議会親睦 スポーツ大会

同じ経済域、商業域をもつ近隣町村でありながら郡の異なることで、日頃の交流が少ない、下益城郡砥用町、中央町、八代郡泉村と甲佐町の4カ町村の町長と議会議員の70名が一同に集まり、中央町のカントリーパーク運動公園において第8回親善グランドゴルフ大会が開催された。

4カ町村の町長、議員混合

のプレーで久々に顔を合わせる議員はなつかしそう歓談したり親睦を重ねられていた。

グランドゴルフ終了後の親睦会では全員名札をつけての参加、町村事情の意見交換や町村合併の話がひとしきり、本年11月より合併して美里町になる砥用町・中央町、来年に泉村は八代市と合併する為、来年から4カ町村での開催は本年度最後となる。

編集後記

今回、9月定例議会は3日より9日までの7日間の予定であったが、台風被害による停電で議会審議ができず、会期が1日延びてしまった。本町議会の過去を見て台風の停電による議会延長は初めてのことだそうです。

本来ならば、9月が盛り

の彼岸花も相次ぐ台風の通過に、やや疲れ果てた様子に感じられ、自然の怖さを知った先の台風でした。議会は、町民の皆様が如何に安心して、幸せな生活を送れるか、それを議論する場であり、議員はそれが役目でもあります。また、議会広報「清流」はその内容をつぶさにお伝えするよう広報編集委員は努力しています。ご意見ご要望がありましたらご一報下さい。

議会広報編集委員会

委員長	本田 新
副委員長	永野 義人
委員	境 国嗣
"	奥名 克美
"	高木 英吉

